



ケータイのリスク②いじめ最低!!

- それほど悪気はなくても、仲間はずれや悪口を書かれた人にとっては想像以上に辛いものとなります。沢山の人が見るネットに、人を傷つけるような書き込みをするとどんなことが起こるか考えたことはありますか？
- 仲間はずし、いやがらせ画像の投稿、悪口の書き込みなどは立派ないじめです。ネットへの書き込みで犯罪行為となってしまうケースもあります。そうなる前に相手の立場や第三者的にものごとを考えられるようになって欲しいものです。
- また、ネットの書き込みは消えることはありません。スクリーンショットによりずっと拡散されることもあります。面と向かって話せないようなことをネットに書き込んではいけません。

◆ 人を傷つけるようなことを決してネットに書き込んではいけません。

自分が書いたことがばれないと思っていても、意外と簡単に個人は特定されます。特定の書き込み、行為について、ネット上で匿名はありません。法に触れるような行為に関しては必ず個人は特定され、責任を負うことになります。

◆ いじめに気がついたら、先生や周りの大人に相談してください。

ネットで見ることができない、通話アプリの場合は、その画面のコピー（スクリーンショット）や写真として残しておいて周囲の大人に相談するようにしてください。いじめに気づいても知らんぷりしているのは、いじめに荷担しているのと同じです。重大なことにつながってしまう前に周りの大人に相談してください。学校では担任の先生、宍戸が承ります。

【事件例】

中高生の少女4人（14～17歳）が無料通話アプリで知り合った女子中学生に暴行を加えたとして、傷害罪で逮捕。「被害者がアプリでの連絡を絶ったり、態度が悪かったりしたことに腹が立った」などと供述。

キ リ ト リ

【返信欄】 御意見御感想をお寄せいただけたら幸いです。担任を通して宍戸まで。